



No.154

メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	定例事業を再開しました!	…… 1	カレンダー	2020年7月の comm cafe ランチカレンダー	…… 5
特集	COVID-19時代の「多文化共生」インタビュー編	…… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ	…… 6
投稿	コロナ危機下のアメリカと卒業式	…… 5	巻末	編集後記	…… 8

## 定例事業を再開しました!

6月9日の日本語教室ささゆり(読み書き)を皮切りに、定例事業を順次再開している。最初の週の学習者は通常の3分の1程度。まだしっかりとお知らせが届いていないのかもしれないし、感染のリスクもあるので参加を控えている方もいるかもしれない。とにかく、できるだけ再開のお知らせが届くようにしたい。

日本語教室など定例事業の再開について  
<https://mafga.or.jp/resumeregularprograms0609/>

6月10日には、各ボランティアグループからコーディネーターが集まって、「グループコーディネーター会議」を行った。センターに6名、ZOOMで8名が参加し、各グループの近況を報告しあった。感染対策もあり通常より30分短縮した会議だったので、ゆっくりと意見交換する余裕はなかったが、半年ぶりの再開に、少しほっとし、また刺激も受けていただけたように思う。詳しくは3ページの報告を見てほしい。

また6月は外国人市民のための生活相談の一環として、市内各所で「特別定額給付金の申請書書き方講座」を開催している。各日ごとに3言語以上の通訳者を配し、市役所や社会福祉協議会、らいとぴあ21からもスタッフの協力を得た。7月以降も外国人市民への相談対応に通常以上に注力していくので、周囲の方への声かけ、周知をお願いしたい。

箕面市の生活情報を多言語で配信中!  
<http://portal.mafga.or.jp/>

「国際理解のための語学講座」も今年度のクラスをようやく開講できた。こちら前年度と比較して6、7割程度の参加状況。それぞれの事情もあり、申し込み後に辞退された方もいた。協会の語学講座は地域の外国人市民が講師になっている。学び、交流することが、外国人市民の活躍の場を増やすことにもつながる。途中参加も可能なので、興味のある方は問い合わせを。

国際理解のための語学講座  
<https://mafga.or.jp/kouza2020/>

comm cafeの営業も再開している。休業中にスタッフやボランティアで検討した新しいメニュー(スムージーや日曜日のランチセット&世界の朝ごはんシリーズなど)もスタート。いつものランチは少し安めの価格(税込¥700)でテイクアウトも可能になっている。箕面市のテイクアウトクーポンを使えるので、ぜひ利用してほしい。

comm cafeの最新情報はこちら!  
<https://www.facebook.com/mafgeschallengecafe/>

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp Webサイト: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 314名 法人会員数 38団体(2020年1月24日現在)

## 特集



## この時代を生きる人々の多様な声を記録しよう

## “COVID-19 時代の多文化共生” インタビュー編

5月号から協会に関係する人々、グループへのインタビューを掲載している。そのこころを少し。新型コロナウイルスの感染拡大とそれにとまなう様々な動きは世界史に残る大きな出来事に違いない。しかし、この出来事はどんな風に記録され、記憶されるだろうか。そこにはどれだけ多様な声、小さな一人一人の声が含まれるだろうか。そんな思いから、この協会につながる人々の今現在の多様な声を拾い、記録したいと思う。誰かが今「あたりまえ」だと思っていることも、10年、20年後にはまた違った感慨を持って取り上げられるかもしれない。またそれは別の誰かにとって、とても新鮮で、刺激的な発見であるかもしれない。結論を急がず、いろいろな声を記録したい。そんな思いで、しばらくの間、協会につながる様々な方々の声を載せていきたいと思っている。(めろん編集部)

## 菊池史子さん (第四中学校・日本語指導担当)

## ■初めての担当 手探りのなかの情報提供■

臨時休校となってから、保護者や子どもたちには、ほぼ毎日のように市教委からの文書と学校からのメールが発信されていました。四中では、4月から市教委からの文書を英語に訳して保護者にお渡ししてきました。必要とされた言語は必ずしも英語ではなかったですが、英語なら多くの人が少しでも理解できる言語だろうと考えました。学校からのメールは1日に何回か送られることもありましたが、情報内容が多く、「三密・分散登校」といった新しい表現もあり、渡日保護者にとっては理解しづらかったらうと思います。手探りでやってきましたが、情報をシンプルにし、わかりやすい「やさしい日本語」で、対応することも必要だったのかもしれないと思います。4月に保護者が教科書を取りに来校した時、「わからない場合は、メールで連絡しましょう」という手紙を渡しました。そうして、メールや電話でそれぞれの質問に対応してきました。

普段の学校生活であれば、日本語の支援が必要な子どもたちは、周囲の子どもたちの動きを見ること、モノを見ることで理解を促すことができますが、今回の緊急事態では文字情報しか得られなかったため、さぞしんどい思いをしていたのではないかと思います。登校してきた子どもたちに、この期間どのように過ごしていたか尋ねました。どの子どもたちからも「学校が休みになって最初はうれしかったけど、長すぎて退屈だった、友だちに会いたかった」と返事がありました。(聞き手 大橋)

(市内の小中学校では、豊川南小学校、第四中学校に日本語支援担当の教員がいて、それぞれ市内各校を巡回指導している。)

## ローラ・ステブラーイさん (第二中学校・外国語指導助手)

## ■コロナ禍の子どもたちに向けて■

今、世界中の生徒が突然、以前のように学校で学べないという奇妙な状況に置かれている。しかし、私が子どもだった時、毎日家にいるのは私にとって普通のことだった。学校に行く代わりに、『ホームスクール』すなわち自宅で、両親が私と妹の教育を担っていた



からだ。学校が遠くて通えなかったか、学校に行くのが嫌で行かなかったのではなく、両親は私が大人数の中でより自分一人で学ぶ方が良く考えた。家で、大切だと思えることを教え、家族で興味深い時間を過ごせるようにしたかったのだ。両親は、教えるというより、私が自分で学ぶのを助けてくれ、共に学ぶことも多かった。『学校に行く?』と両親に聞かれても、私にとってホームスクールは、常に自然で充実した学びの場だったので、いつも『No!』と答え、結局、私が初めて他の学生と一緒に教室で勉強したのは大学生になってからだった。

アメリカでは、家庭学習のための教材や環境が整っていて、学校で学ぶのと変わらない学習が家でできたこともあり、たとえ苦手な科目があっても、クラスメイトより遅れてしまうことを心配せず、自分のペースで学ぶことができたし、興味があることは好きなだけ取り組む時間も作れた。

もちろん、自発的なホームスクーリングとコロナ禍による登校自粛は全く違う。しかし、誰もがホームスクーリングから得られる教訓は、学ぶのに『正しい』方法なんて無いということだと思う。あなたが読むのに長い時間がかかっても、先生の話聞くだけでは理解しづらくて写真やビデオ



ホームスクーリングの様子

オなど自分に合った補習を必要としても、勉強する時じっと座って居られなくて休憩を取る必要があっても、『それでいい!』。私は、自分の学び方が変だとか間違っているとは一

度も思わなかったもので、大学生になった時、自分で勉強することに自信を持って学ぶことができた。すべての生徒が、自分たちは一人一人違って、誰もがさまざまな方法で学ぶことができることを理解してほしいと願っている。(聞き手 平沢)

### シチ・ゴック・トゥエットさん (協会ボランティア)

「第二波、第三波が来るのではと心配だけど、私ぐらいは、前向きにならないと!と、新しいことにも挑戦している」と話すのは、ベトナム出身のトゥエットさん。緊急事態宣言の翌日から仕事がお休みになり、保育園と小学生の2人の子ども、そして、ベトナムへ帰国できなくなった母親と、自宅で過ごす日が続いたという。「いつもは温厚な性格の下の子が、乱暴になって…」と、元気に小学校と保育園に通い始めた子どもたちも、休校期間中はストレスをためていたことを振返る。「今、一番心配なのは、母親のこと。数週間の予定で来日したが、3月末からベトナムへの定期路線全線が運休になり、もう4カ月も日本にいる。もともと心配性な性格ということもあり、不眠に悩まされていて…外出自粛が緩和された今でも、家でふさぎ込んでいる」と悩ましそうに話した。



### ジャ・チンさん (comm cafeシェフ)

中国出身のジャさんも高齢で持病のある一人暮らしの母親を心配する。ジャさんを訪ねて1月に来日していたが、その後世界規模での感染拡大が進み、帰国させるか、日本での滞在を延長するか、ずいぶん悩んだという。「親戚や知り合いのいない日本に留



まるよりも、言語の壁がなく、かかりつけ医のいる中国にいた方が安心。結局、予定通りに帰国することを選んだ」と話す。世界規模での入国規制がかかる中、外国人市民は、一度出国すると再入国ができなくなっている。「常に選択肢を突きつけられている気持ち。テレビのニュースで、亡くなった親のお葬式に参列できなかった日本に住む韓国人の方の話を知った。自分自身の状況とも重なり涙を流しながら見た」と、不安な胸の内を話してくれた。(聞き手 末原)

### ■緊急事態宣言下のボランティア活動■

6月10日(水)、半年ぶりにGC (グループコーディネーター) 会議が開かれた。MAFGAで活動する12ボランティアグループから13名が講座室とZOOMで参加。活動報告を行った。全て紹介しきれないので、幾つかのグループの報告を紹介する。

**多文化子ども保育** (日本語教室の時間に子どもを保育する活動) …保育は6月もお休み。日本語学習者は子どもを預けないと勉強ができないので再開したいが、保育は密が避けられない。手指やおもちゃの消毒、衛生環境などが目下の課題。

**さんさんクラブ** (日本語交流を通じた外国人親子のサポート) …外国人親子のサポート。6月中に外国人親子とのZOOMミーティングを予定。プレイルームが使えないので、公園などでの外遊びを行えないか検討している。

**きずな** (阪大留学生との宿泊を伴わないホストファミリー活動) …春学期は、阪大からの留学生紹介がなかった。帰国後4月に再入国ができず、大学から登録抹消になったり、来日しても隔離された留学生もいる。個々の交流は続いていると思うが、中には連絡しても返事のない留学生もいて心配している。

**みのおポスト** (多言語での生活情報の発信) …偶数月に発行なので4, 5月号の読み合わせをしている時に「明日から閉館」と言われ、職員に託した。メンバーは殆ど仕事を持っているので、ZOOM会議はかえって普段より参加者が多く充実。もともとテレワークの作業なので、困ることは少ない。

ボランティアグループがそれぞれ工夫して、活動を模索していることに頼もしさを感じた。しかし、“WITHコロナ”が続くと、これからの活動に支障をきたすグループもあるかと思う。次回9月のGC会議では、より良い方向に向かう報告が聞けることを願っている。(井嶋)

**特派員レポート** **米国コロナレポート 前編**  
**コロナ危機下のアメリカと卒業式**

陶波さん  
 中国出身。箕面市豊川南小卒。  
 12年前ブラウン大学在学中に、  
 当協会にてインターンを経験。

5月中旬の昼下がり、スターリング記念図書館前の芝生をひとりで散歩する。いつもなら卒業間近の学生たちで賑わっているが、今年は人影はまばらで、時折見かける人もマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを守って歩いている。米国の著名な建築家Maya Linが自らの母校に捧げた作品で、学生たちの憩いの場でもあるWomen's Table (大理石のモニュメント) の噴水も今は止まっている。まるで時が止まってしまったかのよう。

私は2012年からアメリカ北東部にあるイエール大学に留学しており、途中2年間の東京での調査研究も含め計8年間、歴史学部博士課程の院生として過ごしてきた。博士論文も書き終え、最終審査もパスし、晴れて卒業式を迎える矢先の2月下旬、新型コロナウィルスがアメリカでも本格化した。3月の春休み中に大学は今学期の授業を全てオンライン授業に切り替えると発表した。3月中旬にはイエールで初の感染者が確認され、コネチカット州の州令により生活を維持する上で欠く事の出来ない労働者以外の外出が禁じられ(必需品の買い物や散歩は可)、事実上のロックダウン生活が始まった。連邦レベルでは全ての米国民と米国永住者を対象に1200ドルの給付金が支給され、私にも大統領の署名入りの書簡と小切手が送られてきた。再選を意識してか、小切手の「ドナルド・トランプ」の名前が目立つように書かれていた。

3月下旬にはアメリカ最大規模のアジア研究関連の学会でパネル発表をする予定であったが、その学会もキャンセルされた。自宅で過ごす時間が増える中、Zoomを使ったオンラインセミナーや講習会に参加する事で、このような通信ツールでもある程度コミュニケーションが取れると分かった一方、やはり他人と現実空間を共有して行う対話とは勝手が違うと感じた。

そんな制約がある中で、歴史学部は我々のためにZoomを使った「バーチャル卒業式」を開催してくれた。5月に卒業式を迎えるはずであった24人の



水の止まったWomen's Table

博士卒業生に対し、それぞれ指導教官からビデオメッセージが贈られ、世界中から参加した家族や友人と共に、パソコンの画面越しにこの大きな節目を祝った。コロナ規制下の特殊な状況で行われた卒業式ではあったが、これはこれでいい思い出となった。また、Ph.D.を取るためには周囲の多くの人々のサポートがあってこそはじめて可能だということ、あらためて実感した。

卒業式から1ヶ月後、日本に帰国した。入国時にPCR検査を受け、現在は東京の宿泊施設で14日間の隔離生活を送っている。検疫目的の隔離=Quarantineの語源は、「40日間」を意味するイタリア語 (quarantena)。黒死病が流行した中世ヨーロッパで、当時の主な交通手段である船を入港前に40日間沖に停泊させた慣習に由来する。こうしてみると、私の隔離生活も歴史的な経験に沿っているとも言える。しかし、今回のコロナ禍は蔓延速度や規模から見ると未曾有の出来事であり、今後あらゆる方面に影響を及ぼすだろう。次回、歴史家としての私見を述べてみたい。

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

**おざわクリニック**

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。  
 ■胃カメラは予約制です。  
 ■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日  
 ■http://homepage2.nifty.com/ozawa-clinic/  
 【住所】〒562-0023  
 箕面市粟生岡谷西 3-7-9 シャトー野間 1F  
 阪急バス停留所「宮の前」 スーパーマルヤス向い  
 □無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721

fairtrade shop & cafe

**エスパーロ 能勢**

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の  
**多言語による生活相談窓口**

電話 072-727-6912  
 (日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00  
 受付方法：来館、メール、電話  
 対応言語：日本語、英語、中国語、  
 韓国・朝鮮語、ポルトガル語  
 場所：箕面市立多文化交流センター

7月  
July



# comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土	<p>★朝カフェ … 9:30 ～ 11:30</p> <p>★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00 * 売り切れ次第終了します *</p> <p>★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00</p>	<p>ランチは 880 円 (税込) です。 * ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつかます。</p> <p>●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255</p> <hr/> <p>☒ … スナック or スウィーツの日    ☑ … カフェで開催するイベント</p> <p>各種イベントの詳細は「めろん」P6・7をご覧ください。</p>
日曜日	<p>★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円) …10:00 ～ 13:00 * ランチはありません</p>	
日・祝日	<p>★ランチセット (ドリンク付 510 円) …9:30 ～ 15:00 * ランチはありません</p>	

**comm cafe からのお知らせ** ◆お弁当 (700 円 (税込)) 始めました!!ご注文お待ちしております。

◆人気のスナックメニュー「ロシアのプリヌイ」を平日でも注文可能。また、スムージー (400 円) も始めました!!

◆ランチメニューが増えました! インドの「エッグロール」・ベラルーシの「ドラニキ」セット: 510 円 (ドリンク付き)

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
		1 ☒ MAFGA スナック	2 レイラさん 《モロッコ》	3 セバルさん 《トルコ》	4 テイさん 《ベトナム》	5 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
6 休館日	7 コフさん 《タイ》	8 ☒ MAFGA スナック	9 張さん 《中国》	10 ゴメスさん 《パラグアイ》	11 レイラさん 《モロッコ》	12 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00～13:00 ☑ Diversity Cafe 14:00～15:00
13 休館日	14 ノックさん 《タイ》	15 ジェニーさん 《アルメニア》 ☑ シカモ・サロン 10:00～11:00	16 テイさん 《ベトナム》	17 トゥヰ岫さん 《ベトナム》	18 張さん 《中国》 ☑ みのお cinema 上映会 18:00～20:00	19 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
20 休館日	21 セバルさん 《トルコ》	22 ズイアさん 《ニュージーランド》 ☑ チームモイ語り合い 18:30～20:30	23 ランチセット (9:30～15:00) [祝日] 世界の朝ごはん 《パラグアイ》 10:00～13:00	24 ランチセット (9:30～15:00) [祝日] ☒ MAFGA スナック	25 ジェニーさん 《アルメニア》	26 ランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《インド》 10:00～13:00 ☑ アートの小箱 12:00～14:00
27 休館日	28 ノックさん 《タイ》	29 ☒ MAFGA スナック	30 ホーさん 《香港》	31 洪さん 《コリア》	◆箕面市テイクアウトクーポン 7月末まで!	

●ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。

●メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。

●詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



## 国際交流協会(MAFGA)からのお知らせ

下記についての問い合わせ・申し込みは(公財)箕面市国際交流協会まで

※開催場所：箕面市立多文化交流センター

電話：072-727-6912 FAX：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

定例イベント	7/11 (土) 13:00 ~ 14:00	<b>ハット市とのスカイ交流</b> 【テーマ】スポーツについて(普及度・人気度の高いスポーツ)	場所：講座室 A・B 参加費：無料(予約不要)
	7/12 (日) 14:00 ~ 15:30	<b>Diversity Cafe ~多様性について考えよう~</b> 【講師】ジョアナ・ジャクソン、ジャスミン・メンデス	定員：10名(申込み不要) 参加費：550円(ドリンク付き) 
	7/18 (土) 18:00 ~ 20:00	<b>みのお cinemo 上映会</b> 毎月1本、視点を豊かにする映画を上映。 【上映作品】ハーフ(監督・撮影：西倉めぐみ 高木ララ 2013年/日本/87分)	場所：comm cafe 定員：20名(申込み先着順) 参加費：500円(賛助会員)、800円(一般) 申込み：電話、窓口、メールにて 
	7/17 (水) 10:00 ~ 11:00	<b>シカモサロン ~外国語で知るせかい~</b> 【読み手】崔 聖子(韓国・朝鮮語)	定員：10名程度(申込み不要) 場所：comm cafe 参加費：500円(ドリンク・スナック付き) 
	<b>イベント</b> 7/18 (土) 10:00 ~ 12:00	<b>外国にルーツのある子どもと保護者のための 小学校生活についての相談会</b> 日本で子育てしている先輩保護者たちや先生たちと情報交換をする会。子どもたちの学校生活について、一緒に考えましょう。 ※個別相談もできます。	対象：外国にルーツのある子どもとその保護者(子どもも一緒に参加できます。) ※通訳が必要な場合は、7/11までにご相談ください。 定員：10名 場所：会議室 参加費：無料
<b>イベント</b> 7/22 (水) 18:30 ~ 20:30	<b>チーム・モイとの語り合いカフェ</b> お茶を飲みながら年齢、経験、文化などが異なる人たちと身近なテーマについて語り合いませんか。 【テーマ】「はたらくこと~おかねがもらえても、もらえなくても、いろんな”はたらく”がある~」 ◎進行：ほんま なほさん(大阪大学准教授)	場所：comm cafe 定員：7名程度(要申込み) 参加費：ワンドリンクオーダー制 	
<b>ワークショップイベント</b> 7/26 (日) 12:00 ~ 14:00	<b>アートの小箱を開けてみる vol.7</b> アート作品を切り口に、自らの内面の多様性に気づくWSイベント。 【テーマ】世界のベストセラー ◎講師：野崎ターラー(めろんコラム「アートの小箱」執筆者)	対象：アートに興味のある人、対話型ワークショップに興味のある方 場所：comm cafe 定員：10名程度(申込み不要) 参加費：ワンドリンクオーダー制 	
<b>イベント</b> 8/1 (土) 10:00 ~ 12:00	<b>多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」</b> 地域で暮らす外国人市民との交流で多様性を体験するプログラム 【テーマ】モンゴルの食文化について モンゴルの水餃子(ポーズ)をつくる ◎講師：オチルホヤグ・ボルバートさん(モンゴル出身)	場所：comm cafe 対象：小学生 参加費：無料 定員：10名(申込み先着順) 申込み：11月5日(火)から 	

## 唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で38年の歴史~

(公社)日本バレエ協会会員・AODT会員

\*バレエコース：教師歴55年の唐木幸子と、「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書(Diploma)取得、教師歴25年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層(3才~70才位)で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース：現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。(姿勢科学療法)

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前(駅より30M)  
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



# 語学講座

2020年度 国際理解のための

**追加 受講者募集!!** 途中参加でも安心して受講できます!

講座名	曜日・時間	講師
①せいなん英会話(初級)※	水曜日(10:00～11:30)	東堂マリナ
②英会話(初級1)	金曜日(13:30～15:00)	ショーン・ジョーンズ
③トピックで英会話(中級)	水曜日(13:00～14:30)	
④英会話(中級)	金曜日(13:00～14:30)	ドナルド・ギャグナー
⑤気軽に話す英会話	金曜日(19:00～20:30)	
⑥スペイン語(初級)	土曜日(13:00～14:30)	ロニー・マサリエゴス
⑦イタリア語(入門)	木曜日(9:30～11:00)	アレッシア・シルヴェストロ
⑧イタリア語(初級)	木曜日(11:15～12:45)	
⑨子ども英会話2(ドルフィン)	金曜日(17:00～18:00)	東堂マリナ

★受講料やその他詳細については、  
協会ホームページをご覧ください。

★問合せ：☎072-727-6912

メール：kouza@mafga.or.jp

※「せいなん英会話(初級)」は、箕面市立西南生涯学習センターで行います。

## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

### セミナー

7/18(土)

11:00～11:45

または

7/20(月)

17:00～17:45

### 「おうちインド化計画～オンラインレッスン～」

zoomを使った、オンラインでの料理教室。

自宅のキッチンでリラックスしながら、

スパイスの香りに包まれたお料理をつくりましょう。

メニュー

○スリランカカレー(えびを使ったカレー)

○キャベツのココナッツ炒め

○ターメリックライス

参加費：2000円(スパイス・郵送料込み)  
当日使用するスパイスは、郵送されてきます。

定員：6名

メール：sahajo2012@gmail.com

主催：Sahajo インド料理教室

### ガレージセール

7/18(土)

9:00～17:00

### 夏のガレージセール!

～Do you want lightly used furniture?～

今夏、帰国予定のALT(外国語指導助手)が、

格安にて家具や生活用品をゆずります。

ベッド、本棚、机、食器、キッチン用品など多数!

場所：JETハウス 駐車場  
(箕面市萱野2-2-17)

申込み：不要

主催：箕面市ALT(外国語指導助手)

問合せ：箕面市国際交流協会(坂口)

### シンポジウム

8/3(日)

14:00～16:00

### 「わかりあおうとする社会へ」

～ヘイトスピーチや差別について考える～

市内でも見られる差別的な落書き、SNSでのヘイトスピーチや

誹謗中傷の実態を知り、対策などを考える。

《コーディネーター》仲田幸司えんりかさん

パネリスト…

浅居明彦さん(部落解放同盟大阪連合会浪速支部)

文公輝さん(NPO 法人多民族共生人権教育センター)

田岡ひろみさん(豊能障害者労働センター)

場所：らいとぴあ21 3Fホール  
(箕面市萱野1-19-4)

参加費：無料

定員：40名(申込み順)

申込み：7月9日から人権施策室

☎072-724-6720

保育あり：1歳6ヶ月～就学前

(定員5名。申込み順。7/22(水)午後5時締切り)

主催：箕面市人権啓発推進協議会

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう!  
(立体的裁断)

南正枝 プロフィール(略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、  
デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Cristian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体的裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話/FAX 072(721)4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

# 2020年度の賛助会員募集中!



(公財) 箕面市国際交流協会は、2016年度から「税額控除対象法人」となりました。これにより、皆さまからのご寄付は税法上の特別措置の対象となります。(ただし、3,000円以上の年会費をお支払いいただいた場合に限りです)

まだ会員でない方は、ぜひこの機会に新規ご入会をご検討ください(特典等は右の表をご覧ください。)

————— 2020年度の会員期間 —————  
**入会日～2021年3月31日(水)まで**

会員の種類		年会費	備考(特典など)
個人会員	個人会員	一口 2,000円～	ニュースレターの郵送、ボランティア保険の加入、セミナーの割引
	個人寄付会員	一口 3,000円～	ニュースレターの郵送、ボランティア保険の加入、セミナーの割引、語学講座の割引対象、comm cafeで使用できるクーポン券(2020年度に限り有効)を謹呈
法人会員		一口 10,000円～	ニュースレターの郵送、協会発行ニュースレターなどの広告料の割引、セミナー及び語学講座受講料の割引(3名まで)、会費の損金算入(税制優遇措置)

## 編集後記

今月は陶波さんから米国のコロナ危機下の大学について投稿していただいた。一読してまず、新型コロナのため人影まばらな、歴史あるキャンパスの情景が絵葉書のように浮かび上がった。陶波さんが今年博士課程を卒業したイェール大学は米国北東部のコネチカット州(人口360万)にある。この州では、記事にあるように3月初めから感染者が出始め、大学はオンライン授業となり、3月23日に州は外出禁止令を発令した。米国の資料によると州の1日の感染確認者数は3月末557名、ピーク時(4月22日)2109名、6月11日現在114名と推移している。同じく3月から感染者が出始めた大阪府(人口860万)の場合、ピーク時(4月10日)での感染確認者数は92名である。日米間でのこの差は何なのか。新型コロナにはまだ分からないことがある。

コロナは様々な問題を我々に突き付けた。それらの多くは感染防止のため人と人の直接接触を止めねばならないことから発する。そのため教育や仕事では、オンライン授業、テレワーク、テレビ会議などのデジタル技術が活用された。オンライン授業はコロナ後は無くなるかもしれないが、オンライン授業で元気になった不登校児がいるとも聞かれ、今号のローラさんの記事にもあるように教育は多様であって良い。コロナ後もオンライン教育をうまく活用すべきではないか。一方、テレワークは働き方改革の意味でももっと発展するであろう。ただ、陶波さんがオンライン授業について直接接しての対話と較べ物足りなさも感じているように、人間的要素とのバランスをとることが求められるであろう。(荻野)

## アクセスマップ



### バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜)黄ルート「多文化交流センター前」  
または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
- (日曜・祝日)緑ルート「小野原西5丁目」から西へ約200m  
※「多文化交流センター前」には停車しません。

### 阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、51、55、56 58、59、66、79	① 小野原
	175、176	② 小野原西
	70	③ 小野原南
	70、78	④ 小野原西5丁目
阪急石橋から JR茨木方面から	92	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
		① 小野原
		② 小野原西

### 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、大橋亜由美、荻野克彦、島田希、崔聖子、平沢清美、結城なお、鷺尾則昭  
 【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター  
 Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp  
 Web サイト : www.mafga.or.jp Facebook : facebook.com/Mafga